

「都心集客アクションプランの一部改訂」について

1 「都心集客アクションプラン」について

- 都心集客アクションプランの一部改訂について . . . 資料1のとおり
- 都心集客アクションプラン（全体図） . . . 資料2のとおり
- 都心集客アクションプラン（本 文） . . . 資料3のとおり

都心集客アクションプランの一部改訂について

【都心集客アクションプランについて】

「都心集客アクションプラン」は、新成長戦略の5つの重点マネジメントの一つである「都心部における集客交流の強化」を目的に、平成26年6月に策定した。

「新幹線口エリアで生み出したにぎわいを都心全体のにぎわいに」をコンセプトに、平成29年3月オープン予定の北九州スタジアム建設と相まって、新幹線口エリアの集客対策を強化し、そこに集まった人たちが商店街などに回遊してもらう仕組みを作るものである。

計画期間は、平成32年度まで。新幹線口エリアで年間集客300万人を目標としている。

【今回の一部改訂について】

今回のプラン改訂は、スタジアムの整備に向けたハードを含めた追記等を中心に、今後の検討事項について整理し修正を行うものである。

主な改訂点は、

- 「スタジアム及び周辺整備」について
 - ・メインスタンド及びサイドスタンドへの屋根の設置
 - ・にぎわい施設（(仮称)浅野町緑地、横断歩道橋等）の整備
 - ・回遊性の向上に向けた歩行者動線の検討
- 「都心集客に向けた公共空間の有効活用」について
 - ・道路、河川等の公共空間の有効活用
 - ・小倉駅の南北連絡通路等の有効活用
- 「まちなか無料公衆無線LANサービスの環境づくり」について
- 『文化・芸術の街 北九州』の発信について

であり、これらの取組について、プランに折り込むこととした。

改訂箇所 の 概要

【方向性Ⅰ】人がさらに集まる仕掛け

頁	項目	改定箇所の概要
5	(1)①	メインスタンドとサイドスタンドへの屋根の設置
	②	あさの汐風公園への指定管理者制度導入の検討 (オープンカフェ)
	③	字句修正(最終行)「出店」→「出展」
7	(4)①	削除(イベント時だけでなく日常的なにぎわいが 生まれるという趣旨で(5)に新規項目立て)
	③	(新)にぎわい施設・空間の整備((仮称)浅野町緑地、港湾緑地、横断歩道橋、スタジアム外周デッキ)の整備
8	(5)①	(新)【公共空間の魅力アップ】道路・河川・港湾緑地などの公共空間におけるにぎわい創出の仕組みを検討
	②	(新)まちなか無料公衆無線LANサービスの環境づくり 本市の魅力のリアルタイムな情報収集、発信

【方向性Ⅱ】滞在時間を延ばす仕掛け

10	(1)①	スタジアム来場者の商店街回遊の仕組みづくりの例示に、 「ファンが集える拠点施設の誘致等の検討」を追記
11	③-1	・小倉駅3F南北連絡通路、バスセンター設備改修の検討 ・併せて1階東西連絡通路の展示スペースの設置を検討
12	④	(新)【回遊性の向上に向けた歩行者動線の検討】 スタジアム建設にともなうハード整備の一環として 歩行者動線誘導を検討
	⑥	(新)⑥「文化・芸術の街 北九州」の発信 俳人・杉田久女・橋本多佳子などの文学的素材、北九州 フィルムコミッションや演劇における実績など、文化資源・ 文化的取組みをつなげる仕組みづくりの検討
13	(2)③-2	(新)【都心のオアシスとして紫川周辺の魅力向上】 ・紫川周辺の水辺空間を活かす仕組み (遊歩道・水環境館の魅力向上策) ・旦過市場の再整備

【方向性Ⅲ】にぎわいを生むためのもう一つの視点

15	(2)	リノベーションによる新しいまちづくりについて、 暮らす空間の創出という視点を追加
16	⑤	【歩いて暮らせる街なか居住の推進】コンパクトシティの 実現に向け、民間事業者による都市開発を誘導するための 検討を行ない、街なか居住を推進